

令和7年度「地域の課題解決プロジェクト」 実施報告書

主題「Challenge！いったれ！！あかがねプロジェクト Third Stage

～別子銅山・SDGsを紡いだ先人たちの知恵に学び行動するエージェンシー人材育成～

愛媛県立新居浜南高等学校

1 主題設定の理由

別子銅山は世界に誇る環境対策やイノベーションを行い、新居浜を自然と産業が調和した四国屈指の工業都市へと発展させてきた。先人たちが課題解決へ挑んだ闘いの足跡を学ぶことによって、SDGsにおける意識や態度を身に付けさせるとともに、持続的発展可能な地域づくりに向けてのエージェンシー（変革の主体者）の育成を目的とし、本主題を設定した。

2 事業計画

主な事業について項目を示す。

実施時期	実施内容	実施学年、参加生徒数、教育活動における位置付け、関係団体・協力者等
4月17日	産業社会と人間「遠足事前学習会」	地域共創系列3年次生5名、1年次生121名
4月19日	「別子銅山の自然と歴史を学ぼう！」別子銅山現地研修	愛媛県総合科学博物館、有志6名
4月24日	マイントピア別子への遠足	1年次生121名
4月25日	4月子ども食堂	ボランティア8名、新居浜子ども食堂中村松木店
4月29日	別子銅山・東平地区現地研修	ユネスコ部3名
5月1日	E S D中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」 別子銅山現地学習ガイド（マイントピア別子）	地域共創系列、家庭クラブ14名 船木中学校1年生56名 マイントピア別子
5月2日	ライフスタディⅠ 「別子銅山近代化産業遺産フィールドワーク in 山根」事前学習会	地域共創系列5名 2年次生111名
5月3日	別子銅山・別子山地区現地研修	ユネスコ部3名
5月8日	産業社会と人間「第六次新居浜市長期総合計画」 「SDGs未来都市としての今後の取り組みについて」	1年次生121名 新居浜市総合政策課
5月21日	2025大阪・関西万博 新居浜市紹介イベント (EXPO2025大阪・関西万博 EXPOアリーナ「Matsuri」)	地域共創系列2・3年次生10名 新居浜市
5月23日	5月子ども食堂	ボランティア15名、新居浜子ども食堂中村松木店
5月23日	E S D中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」出前授業	地域共創系列3年次生5名 船木中学校1年生56名
6月4日	にいはま学Ⅱ 社会人講話 「バスツアーで伝える地域の魅力～別子銅山の未来をつなぐ仕事～」	地域共創系列3年次生5名 マイントピア別子

6月5日	にいはま学Ⅰ地域共創講座① 「別子銅山の歴史的意義」	地域共創系列2年次生5名、地域住民6名 別子銅山記念館
6月6日	ライフスタディⅠ えんとつ山フィールドワーク	2年次生111名、えんとつ山倶楽部 愛媛新聞、ハートネットワーク
6月10日	ライフスタディⅡ企業訪問①	選択生徒3年次生5名 えひめ東予産業創造センター 佐々木組、登尾鉄工
6月12日	にいはま学Ⅰ地域共創講座② 「住友の煙害克服の歴史～受け継がれる先人の想い～」	地域共創系列2年次生5名、地域住民5名 日暮別邸記念館
6月13日	6月子ども食堂	ボランティア22名、新居浜子ども食堂中村松本店
6月17日	ライフスタディⅡ企業訪問②	選択生徒3年次生5名 えひめ東予産業創造センター 萩尾機械工業
6月19日	にいはま学Ⅰ地域共創講座③ 「別子銅山の近代化産業遺産の保存活用」	地域共創系列2年次生5名、地域住民5名 新居浜市別子銅山文化遺産課
7月1日	ライフスタディⅡ施設訪問・打合せ (あかがねミュージアム・コミュニティFMスタジオ)	選択生徒3年次生5名 ハートネットワーク
7月1日～ 7月7日	イッタレバ！ものづくりゲンバ体験（5日間）	工業系列2年次生8名 大石工作所、タステム、 四国竹林塗装工業
7月2日	にいはま学Ⅱ 社会人講話 「地域のイベントを授業としてやってみよう！」	地域共創系列3年次生5名 マイントピア別子
7月4日	E S D中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」出前授業	地域共創系列3年次生5名 大生院中学校1年生26名
7月13日	令和7年度東予みらい人材活躍支援事業 キックオフミーティング（東予地方局）	ユネスコ部 東予みらい人材活躍支援協議会
7月18日	「2025大阪・関西万博」太鼓台派遣事業 報告会・感謝状贈呈式（新居浜市役所）	代表生徒3年次生2名 新居浜市
7月18日	7月子ども食堂	ボランティア11名、新居浜子ども食堂中村松本店
7月23日	別子銅山産業遺産創造塾① (えんとつ山、別子銅山記念館、広瀬歴史記念館)	地域共創系列・ユネスコ部7名 新居浜市別子銅山文化遺産課
7月25日	産業遺産創造塾② (マイントピア別子端出場ゾーン、東平ゾーン)	地域共創系列・ユネスコ部7名 新居浜市別子銅山文化遺産課
7月28日	令和7年度県立学校新任者地域理解研修別子銅山登山研修 (旧別子地区)	地域共創系列・家庭クラブ・ユネスコ部6名 新任者10名、愛媛県総合科学博物館

9月18日	にいほま学Ⅰ 地域共創講座④ 「多文化共生の世界を目指して」 にいほま学Ⅱ 「高校生まちづくり観光プロジェクト」 ステークホルダとの打ち合わせ①	地域共創系列2年次生5名 新居浜市国際交流協会 地域共創系列3年次生5名 株式会社大石工作所
9月19日	ライフスタディⅠ 「SDGsの視点で考える気候変動 “わかっている”から“貢献できる”へ」 社会人講話 9月子ども食堂	2年次生111人 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター SDGs新居浜KITE ボランティア10名、新居浜子ども食堂中村松木店
9月20日	あかがねの道スタディーツアー 「別子銅山の環境問題克服の歴史を学ぼう！」	地域共創・ユネスコ部・家庭クラブ6名、 小学生9名・保護者6名
9月25日	にいほま学Ⅰ 地域共創講座⑤ 「写真で見るにいほま今、昔」	地域共創系列2年次生5名、地域住民5名 松山明子氏
10月2日	にいほま学Ⅱ 「高校生まちづくり観光プロジェクト」 ステークホルダとの打ち合わせ②	地域共創系列3年次生5名 株式会社マイントピア別子
10月3日	新居浜市立角野小学校総合的な学習の時間合同学習① 「角野の「すごい！」を見つけ隊！「知恵と工夫」を伝え隊！」	地域共創系列3年次生4名 新居浜市立角野小学校4年生97名
10月10日	新居浜市立角野小学校総合的な学習の時間合同学習② 「角野の「すごい！」を見つけ隊！「知恵と工夫」を伝え隊！」	地域共創系列3年次生5名 新居浜市立角野小学校4年生97名
10月11日	令和7年度新居浜市社会福祉協議会別子山分室・児童施設課連携事業 「別子山の歴史と自然を学ぼう！」	地域共創系列・ユネスコ部4名 新居浜市内小学生29名、中学生3名 新居浜市社会福祉協議会
10月14日	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」 出前授業 令和7年度東予みらい人材活躍支援事業 「高校生企画ラボ！東予の魅力山盛りツアー」 ワークショップ	地域共創系列3年次生5名 新居浜市立南中学校1年生32名 地域共創系列・ユネスコ部4名 東予みらい人材活躍支援協議会 新居浜市シティプロモーション推進課
10月16日	令和7年度伝統文化（地方祭）体験集会	全校生徒345名 中筋太鼓台、新居浜市国際交流協会
10月21日	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」 出前授業	地域共創系列3年次生5名 新居浜市立川東中学校1年生155名
10月22日	新居浜東高校合同登山研修・秋季ツガザクラ保護活動	生徒会、地域共創系列、家庭クラブ、 ユネスコ部22名 新居浜東高校健康スポーツ科1年生33名 愛媛県総合科学博物館
10月24日	10月子ども食堂	ボランティア15名、新居浜子ども食堂中村松木店

	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑥ 「新居浜のものづくり産業①」	地域共創系列2年次生5名、地域住民2名 新居浜ものづくり人材育成協会 三浦清孝氏
10月29日	「イッタレバ!ものづくりゲンバ体験実習Ⅰ期報告会」	工業系列2年次生8名 企業関係者等7名
10月30日	角野中学校ふるさと学習「南高ユネスコ部の歴史講座」	ユネスコ部4名、 新居浜市立角野中学校1年生8名
11月2日	ライフスタディⅡ【総合】大石工作所チーム 地域清掃ボランティア活動	ライフスタディⅡ選択生徒2名、 本校有志3名、企業・地域住民19名
11月7日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑦ 「新居浜のものづくり産業②」	地域共創系列2年次生5名、地域住民2名 新居浜ものづくり人材育成協会 三浦清孝氏
11月11日	角野中学校ふるさと学習「プレゼンテーション講座」	ユネスコ部4名、 新居浜市立角野中学校1年生92名
11月14日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑧ 「新居浜のものづくり産業③」	域共創系列2年次生5名、地域住民2名 新居浜ものづくり人材育成協会 三浦清孝氏
	11月子ども食堂	ボランティア11名、新居浜子ども食堂中村松木店
11月16日	東予ものづくりフェス 2025in イオンモール新居浜 「空き缶コプター滞空対決参加+ブース展示」	ライフスタディⅡ選択生徒5名、 えひめ東予産業創造センター
11月20日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑨ 「途上国の豊かさ～JICA 青年海外協力隊の経験から～」	域共創系列2年次生5名、地域住民1名 本校保健体育講師 岩田紗知氏
11月21日	新居浜市立角野小学校総合的な学習の時間合同学習③ 「角野の「すごい!」を見つけ隊!「知恵と工夫」を伝え隊!」	地域共創系列3年次生5名 新居浜市立角野小学校4年生97名
12月5日	新居浜市立角野小学校総合的な学習の時間合同学習④ 「角野の「すごい!」を見つけ隊!「知恵と工夫」を伝え隊!」	地域共創系列3年次生5名 新居浜市立角野小学校4年生97名
	新居浜市政広報番組 DonDon にいはま ～「新しい にいはま」を目指して～収録	ユネスコ部4名、歯っぴーsmile 隊5名 新居浜市長古川拓哉氏、南海放送
12月6日	瑞応寺、広瀬歴史記念館・旧広瀬邸現地取材	ユネスコ部2名
12月13日	東予みらい人材活躍支援事業 東予の魅山盛りツアー 「高校生企画企画・知って楽しい!別子銅山」	ユネスコ部4名、一般参加者21名、 東予みらい人材活躍支援協議会
12月19日	12月子ども食堂	ボランティア9名、新居浜子ども食堂中村松木店

令和8年 1月14日	東京都立東久留米総合高等学校修学旅行体験学習交流 (マイントピア別子)	地域共創系列3年次生5名、 家庭クラブ5名、ユネスコ部4名、東京都 立東久留米総合高等学校2年生40名
1月15日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑩ 「地域共創と国際協力」	地域共創系列2年次生4名、 国際教養系列2年次生5名、地域住民3名 JICA 愛媛グローバル 大石紗己氏
1月16日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑪ 「銅山峰のツガザクラ群落」	地域共創系列2年次生3名、地域住民3名 愛媛県総合科学博物館 川又明徳氏
1月22日	産業社会と人間「別子銅山せつとう節」出前授業	1年次生118名、工業系列2年次生8名、 地域共創系列2・3年次生10名 別子銅山せつとう節保存会 愛媛新聞、ハートネットワーク
1月23日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑫ 「ベトナムの紹介」	地域共創系列2年次生5名、 国際教養系列2年次生5名、地域住民1名 新居浜市国際交流員 レイティフォンクイ氏
	新居浜市立角野小学校総合的な学習の時間合同学習④ 「角野の「すごい!」を見つけ隊!「知恵と工夫」を伝え隊!」	地域共創系列3年次生5名 新居浜市立角野小学校4年生97名
	1月子ども食堂	ボランティア14名、新居浜子ども食堂中村松木店
1月28日	令和7年度ライフスタディⅡ(課題探究)等学習成果発表会 (新居浜市市民文化センター)	全校生徒342人、PTA、来賓多数 ハートネットワーク
2月3日～ 2月5日	2年次生インターンシップ	2年次生109人 地元事業所60社
2月5日	産業社会と人間「旧広瀬邸訪問」	1年次生117名 新居浜市広瀬歴史記念館
2月8日	第34回新居浜グローバルパーティー (新居浜ウィメンズプラザ)	高校生ボランティア9名 一般参加者252名(来場者) 新居浜市地域コミュニティ課 新居浜グローバルパーティーを楽しもう会
2月11日	東予のみらい人材活躍支援協議会交流会 (東予地方局)	ユネスコ部4名 東予のみらい人材活躍支援協議会
2月12日	にいはま学Ⅰ地域共創講座⑬ 「Hello! New ってなんだろう?」	地域共創系列2年次生5名 新居浜市シティブロモーション推進課 副課長守谷千恵氏 主事山下紗衣氏
2月15日	にいはま健康スマイルフェス(ワクリエ新居浜)	歯っぴーsmile隊6名、一般参加者25名 新居浜市こども未来課
2月21日～ 2月22日	未来の産業遺産を担う人材育成・交流会 (東京:産業遺産情報センター)	地域共創系列3年次生2名 一般財団法人産業遺産国民会議

3 実施内容

主な実施内容について報告する。

実施内容	E S D中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」 船木中学校現地学習ガイド 1年生 56名	
実施場所	マイントピア別子（新居浜市立川町）	
参加生徒	地域共創系列、ユネスコ委員、家庭クラブ 2年（9人） 3年（5人）	
実施期間（時 間）	5月1日（木）（8:40～16:00）	
成果、生徒の感想等	・練習の時うまく伝えられるか不安だったけど、中学生のみなさんがうなずきながら真剣に話を聞いてくれたので、良かったなと思います。 ・最初は緊張したけれど、どのようにすれば楽しく学んだり、クイズを解いたりできるかを工夫して行うことができ、中学生も楽しそうだったのでとてもやりがいがあったなと思いました。 ・改めて感じたのは「伝えることの難しさや面白さ、話し方」でした。事前に歴史の流れや施設の見どころを整理し、できるだけわかりやすく説明する準備をして臨んだけど、実際に始めると、相手の反応によって話し方やテンポを工夫する必要があると痛感しました。 ・今回は中学生対象に、ガイドを行ったけれど大人の方や高齢の方になると表現の仕方や話し方、話すスピードも工夫しなければいけないと思いました。ガイドを終え、「ガイドは一方通行の説明ではなく、相手とのキャッチボールだ」ということを強く実感しました。 ・リーダーとしての責任感を持って周りを見て率先して行動できたかなと思います。時間配分を間違ってしまったときも周りの友達とどうするか相談しながら自分で考えて対応できたかなと思います。今までの自分だったらただ原稿を読んだけど、クイズの時に中学生に直接問いかけてみたり、遊学パークの仲持さんを体験している中学生に「これを背負って山を下りてその後日用品を持って山を登ったんだよ」と声をかけてみたり、少しでも楽しく理解してもらえように取り組めました。また、仲間に私と同じように声をかけてみるといいよとアドバイスもできました。 ・多くの気づきや改善点を得ることができました。ガイドという仕事は、ただ情報を伝えるだけではなく、参加者にどれだけ興味を持ってもらえるか、どうやってその場の雰囲気を作り出せるかが非常に重要だということを実感しました。 ・「聞き手の反応を見ながら進める大切さ」です。事前に準備した内容はあくまでガイドの骨組みであって、実際にツアーを進める中で、参加者の反応に応じてその内容を柔軟に調整する必要があると感じました。 ・質問を投げかけたり、ちょっとしたエピソードを交えたりすることで、参加者の注意を引きつけることが大切だと痛感しました。 ・反省点としては、「説明のスピードやタイミング」の部分です。ツアーの途中で、どうしても自分の話が長くなってしまい、次から改善していくべきだと感じました。特に難しい内容を話すときに、簡潔に要点をまとめることができていなかったと感じています。次回は、説明をもっとシンプルに、ポイントを絞った形で伝えるよう心がけたいです。 ・ガイドを通して「伝えることの大切さ」を再確認しました。ガイドは単に知識を伝えるだけではなく、参加者の心に響くように、興味を持ってもらい、楽しんでもらうことが何より大切だと感じました。もっと自分自身の表現力を高め、より魅力的なガイドを提供できるよう努力していきます。	自己紹介の様子  見学場所へ案内する様子  クイズを出題している様子  観光坑道をガイドしている様子  別子銅山の偉人の紙芝居を披露している様子

実施内容	2025 大阪・関西万博 新居浜市紹介イベント	
実施場所	E X P Oアリーナ「Matsuri」	
参加生徒	地域共創系列 1年次生（0人）、2年（5人）、3年（5人）	
実施期間 （時 間）	5月21日（木）（11:00～17:30）	
成果、生徒の感想等	・今回リーダーとして万博に参加してリーダーの役目をしっかり果たせるかどうか不安もあったりしたけど、発表は大成功で自信につながりました。練習の時からみんなに私なりのアドバイスや声掛けをしてみんなのサポートができたのかなと思います。みんなを引っ張っていくことの大切さやみんなで協力して取り組むことの大切さ、大成功したときのやりがいを感じることができて大きく成長できたかなと思います。	

活動報告の様子

実施内容	J I C A地域理解研修プログラム	
実施場所	本校会議室、マイントピア別子、新居浜市役所	
参加生徒	地域共創系列、国際教養系列、ユネスコ部 1年次生（5人）、2年（2人）、3年（26人）	
実施期間 （時 間）	8月21日（木）（11:00～18:00） 8月22日（金）（9:00～12:00）	
成果、生徒の感想等	・ユネスコスクール活動紹介のプレゼン発表では、みなさんがうなずきながら話をきいてくれたので、とてもやりがいを感じました。 ・本番は練習どおりにいけなくてとても緊張しました。研修の時に先生にいろいろな注意事項を教えていただいてそれを意識しようと思いながら現場にいったけど、いざとなってみると緊張しすぎて結構忘れてしまって、うまくいきませんでした。 ・ガイドがとても上手だったと言ってくださったのがうれしかったです。 ・夏休みに練習をしに学校に来たり、練習でも発音が上手いかなったり大変なこともあったけど、頑張ってきたのかなと思いました。 ・今回リーダーとして参加して去年リーダーを務めてくれていた先輩の姿をとても感じました。ガイドなどがスムーズに動いてどうかはリーダーにかかっていると思うのでその責任感の重さを感じて私も1つ成長できたのかなと思います。 ・上手く折り鶴を作ってもらうことができて、実際に体験をすることで言葉を超えて交流できる喜びを実感しました。 ・意見交換会では、英語のガイドの感想や、他国と日本の違いについてのお話を聞くことができて、勉強になりました。 ・生まれた場所や文化、言語が違って、心の中はみんな同じだと気が付きました。 ・この活動を通して、英語力だけでなく異文化理解やコミュニケーション力の大切さを学びました。 ・完璧な英語を話すことができなくても、勇気を出して話しかけて会話をすることで、英語を使って会話を楽めるという自信に繋がりました。そして、正確な英語を話せるようになり、もっと会話ができるようになりたいと感じました。 ・今回の活動を通して、英語は文法や発音が完璧でなくても、工夫をすることで十分に相手に伝わり、会話を楽しむことができるということに気づきました。また、別子銅山の魅力をもっと伝えるには、自分自身がその背景や意味を理解していることが大切だと実感しました。 ・今後はさらに日本文化や新居浜の歴史について学び、自分の言葉で自信をもって自分の考え伝えられるよう勉強を頑張りたいです。	

活動報告の様子



銅の折り鶴づくり交流の様子

英語による別子銅山ガイドの様子



銅の折り鶴づくり交流の様子



J I C A研修員の皆さんと共に
（9か国14名）

実施内容	ライフスタディ I 「SDGs の視点で考える気候変動～ “わかっている” から “貢献できる” へ～	 全体説明の様子  ワークショップの様子  SDGs ワークシート作成の様子
実施場所	本校会議室	
参加生徒 (のべ数)	2 年次生 (111 人)、	
実施期間 (時 間)	9 月 19 日 (金) (13:55～15:45)	
成果、生徒の 感想等	・ SDGs について全然興味がないし、他人事だと思っていたけど、今日自分にできることとして考えることができた。 ・ SDGs について改めて詳しく知ることができた。問題があることは知っていたけれど、それを解決するためにできることをあまり考えたことが無かったので良かったです。 ・ 自分ができていることをすることが課題の解決につながることや考え方を少し変えることで、行動も変えていくことができると思った。 ・ 未来を変えるには、今の課題から解決するのではなく、未来の課題から解決するバックキャストの考え方が大切だと思いました。 ・ 傍観者や解決者スタンスではなく、自分にも原因があると捉えて、主体的スタンスで考えたいと思いました。 ・ 今、自分にできることは「何か」そしてどう「行動」するのかを考えて、より良い世界になるように社会に貢献したいと思いました。	

実施内容	新居浜市立角野小学校ふるさと学習	 遠足事前学習の様子  合同学習の様子
実施場所	新居浜市立角野小学校	
参加生徒	地域共創系列 1 年次生 (0 人)、2 年 (0 人)、3 年 (5 人)	
実施期間 (時 間)	10 月 3 日 (金)、10 月 10 日 (金)、11 月 21 日 (金) 12 月 5 日 (金)、1 月 23 日 (金) (13:20～15:00)	
成果、生徒の感想等	・ 初めて小学生を対象に発表して、言葉遣いが難しいと思いました。別子銅山では難しい単語が多く、発表中どう説明したら分かるか頭をフル回転させました。 ・ 小学生と関わる事が無くてどうやって仲良くなったら良いかわからなかったけれど、小学生のみんなから名前を呼んで話してくれたので、とてもうれしかったです。 ・ 小学生から声をかけて頼ってくれたおかげで、自分から積極的に取り組むことができるようになりました。 ・ 質問を積極的にしてくれて嬉しかったけど、まだまだ教えられることが無いなと感じました。もっと勉強しなければいけないと思いました。 ・ 小学生みんなの元気や明るさに助けられました。	

実施内容	新居浜東高校合同登山研修・秋季ツガザクラ保護活動	
実施場所	別子銅山（旧別子地区）、マイントピア別子	別子銅山ガイドの様子
参加生徒	生徒会、地域共創系列、家庭クラブ、ユネスコ部 1年次生（5人）、2年（9人）、3年（10人）	
実施期間 （時 間）	10月22日（水）（9:00～15:30）	講師による登山の安全についての講話の様子
成果、生徒の感想等	・今回初めてツガザクラ保護活動に参加しました。今まで知らなかったことを多く知ることができました。登山では昔の建物の紹介など、そこにしか行かないと分からない迫力があり、昔の生活風景を思い描くことができました。特に記憶に残っているのは劇場のところです。広い敷地があり大阪などからも芸人をよんでおり、当時の賑わいはすごかったんだと思いました。当時の石垣もあり住居の跡も感じることができ別子銅山の繁栄を感じました。ダイヤモンド水では湧き水ということで、普段なかなか飲む機会がなく自然を感じることができました。自然と歴史が共存していて異空間のように感じました。ツガザクラについてはあいにくの雨で直接見るができなかったのが悔やまれます。しかし、川又先生の話聞きこれからは保護活動をしていく必要があると感じました。銅山峰で咲くツガザクラは貴重だから盗難などから守っていくことが大事だと思いました。 ・今回登って、新居浜市のこの素晴らしい自然と歴史を守りもっと発信していくことで別子銅山をはじめツガザクラを知る人が多くなると感じました。しかし、そのためには橋などの登山道の整備やツガザクラの保護活動などを定期的に、そして継続的にしていく必要があるとも感じました。今、私たちにできることはそういう保護活動に参加したり歴史を知っていくことだと思います。今回、実際に参加しそれを感じました。なので、これからもそういう活動に積極的に参加していきたいです。 ・今回高校で初めて別子銅山に登って、登山では雨の影響でダイヤモンド水までしか登ることができませんでしたが、その道のりの多くで学びがありました。急な坂道を当時の人たちが登っていたのかと考えたり新居浜東高校さんとの合同の登山で自然に会話をするのもできました。また地元の自然や産業の歴史に触れることで、別子銅山が新居浜の発展を支えてきた大切な場所であることを改めて実感しました。天候には恵まれませんでしたが、地元の魅力を再発見し、人とのつながりの大切さを感じることができた貴重な体験になりました。この経験を通して感じたのは、地元の誇りであり、未来に伝えていくべき大切な財産だということです。私たち一人ひとりが関心を持ち、学んだことを次の世代へ伝えていくことが、地元を守ることにつながると思いました。今回の登山で感じた感動や学びを忘れず、地域の歴史を大切にしながら、新居浜の魅力をこれからも多くの人に発信していきたいです。	
		講師によるツガザクラについての講話の様子
		
		両校の交流会話の様子
		
		参加者全員で記念撮影

実施内容	にいほま健康スマイルフェス	
実施場所	ワクリエ新居浜	
参加生徒	ライフスタディⅡ（歯っぴーsmile隊） 1年次生（0人）、2年（0人）、3年（5人）	
実施期間 （時 間）	2月15日（日）（10:00～12:30）	
成果、生徒の感想等	・市の事業として「にいほま健康スマイルフェス」を企画・運営する機会をいただき、市役所や歯科医師会、専門学校の方々と協力しながら、チラシ作成やオリジナルキャラクターの制作など、ゼロから形作っていききました。イベント当日、多くの子どもたちが笑顔で「あいうべ体操」に取り組む姿を見たとき、この一年間の努力が確かな成果として実を結んだことを強く感じました。地域の課題を知り、自分たちの声が社会に届くという手応えを得られたことは、大きな自信につながりました。支えてくださったすべての方々への感謝を胸に、この経験をこれからの人生の糧にしていきたいです。 ・私たち高校生が意見を出し、イベントまで繋げられたことで高校生の声がちゃんと届くんだと新居浜市の市民みんなでより良くしていこうという新居浜市の温かさを感じました。	

	
オープニングでのパネルシアターの様子	
	
オリジナルキャラクターシールをお土産用コップに貼る様子	

実施内容	未来の産業遺産を担う人材育成・交流会	 活動発表の様子  葦山反射炉見学会での記念写真
実施場所	産業遺産情報センター（東京都）、葦山反射炉（静岡県）	
参加生徒	地域共創系列 1年次生（0人）、2年（0人）、3年（2人）	
実施期間 （時 間）	2月21日（土）（12:10～17:45） 2月22日（日）0	
成果、生徒の感想等	・普段他県の方とお話する機会が無いので、自分の県の事を伝えたり相手の県を知れたりして、とてもいい時間でした。 ・この企画に参加して他県の魅力を知ることによって改めて自分の地域の魅力を理解し、参加前よりも誇りに思うようになりました。直接会って他県のことを教えていただくことでより興味を持つことができたし、深く理解することができました。他県の方と魅力を語り合って食事をさせていただく機会がなかなかないのでかなり緊張はありましたが、嬉しかったし、楽しかったです。「自分の地域の魅力を知るには他の地域の魅力を知る」ということを今回実感したので今後も何事にも学び、知ろうとする姿勢を大切にしていきたいと思います。そして沢山の知識をつけ、地元新居浜市をよりよくできるように頑張りたいと思います。	

4 成果と今後の課題

昨年時の実績を踏まえ、今年度はさらに充実した活動を実践できている。

特に、小・中・高校の連携の機会が多くなっている。

このことは、これから地域を担って行く若い世代が地域を学び、理解し、行動するチャンスを生み出してきていると感じる。

生徒たちは、実践の中で様々な課題と直面する。そのことを自ら、あるいは仲間と協力しながら乗り越えていく。また、地域の様々な人々との交流を重ねて行く。

これらの活動の一つ一つ積み重ねることで、自身の成長した姿を実感し、自己肯定感、他者理解、シビックプライド等の醸成へとつながり、本プロジェクトの目標とする持続的発展可能な地域づくりに向けてのエージェンシー（変革の主体者）の育成に達すると考える。

ただ、活動が多岐にわたり多様化する中で、オーバーコラボレーションの懸念も考えられる。今後は、これらの課題検証をさらにを行い、次年度へつなげたい。